



報道機関 各位

【埼玉県・さいたま市同時発表】
 記者発表資料
 平成24年3月29日(木)
 問い合わせ先：都市経営戦略室
 担当：藤澤・大西
 電話：829 1064
 内線：2134

第3回埼玉県・さいたま市企画調整協議会を開催しました。

埼玉県・さいたま市企画調整協議会の第3回会議を下記のとおり開催しましたので、その結果の概要をお知らせします。

記

- 1 日時 平成24年3月29日(木) 午前10時～午前11時30分
- 2 場所 さいたま市役所 議会棟2階 第7委員会室
- 3 出席者

| 埼玉県 | | さいたま市 | |
|------|-------------|-------|----------|
| 下仲宏卓 | 企画財政部長 | 薮島豊志 | 政策局長 |
| 中野 晃 | 企画財政部副部長 | 井上靖朗 | 政策局総合政策監 |
| 川上和宏 | 企画財政部地域政策局長 | 横田宗親 | 財政局財政部長 |

4 会議の結果

次の事項について関係各課が取組の現状等を説明した後、連携の方向性について協議を行いました。

| 分野 | 協議事項 | | 関係各課 | |
|--------|---------------------|---|---------------------|-----------------------------|
| | | | 埼玉県 | さいたま市 |
| 公共施設 | さいたま市内における区市公共施設の連携 | 公営住宅の適正な配置・運営 | 住宅課 | 住宅課 |
| | | 図書館の適正な配置・運営 | 生涯学習文化財課 | 中央図書館 管理課 |
| スポーツ振興 | スポーツ振興施策における連携 | 大型スポーツ大会の開催・誘致(さいたま市スポーツコミッション事業)と埼玉スタジアム22、さいたまスーパーアリーナ等との連携 | スポーツ振興課 公園スタジアム課 | 観光政策課 スポーツ振興課 スポーツ企画課 |

なお、第4回協議会における協議事項は、「産業振興」分野の「企業誘致・企業支援施策における連携」に決定しました。

今回協議の主な内容

1 公営住宅の適正な配置・運営

(現状)

県営住宅団地数は301団地で、うち52団地がさいたま市内にある。また、さいたま市営住宅団地数は38団地である。

埼玉県では、県営住宅の建替えによって生み出した余剰地を活用し、高齢者施設や子育て施設を整備・運営する社会福祉法人に、当該用地を賃貸する団地再生事業を実施している。

県市ともに、昭和30～40年代の老朽化した団地が多いため、維持管理や更新が課題である。また、小規模団地が分散しており、管理運営上、非効率となっている。

団地住民の高齢化が進んでおり、高齢者支援が課題となっている。

(連携の方向性)

以下の方針の実現に向けて県市担当課が具体的方策について今後協議を進める。

県営住宅担当者と市営住宅担当者による協議会の設置

【協議・検討事項】

- ・今後の公営住宅のあり方、県市の役割分担についての検討
- ・県市が連携した高齢者等見守りサービスの検討
- ・建替え時の仮移転先等の相互協力、県市が連携した団地再生事業の検討

2 図書館の適正な配置・運営

(現状)

埼玉県では、浦和図書館、熊谷図書館、久喜図書館の3館を設置している。

3館が分野別専門館として一体となった運営を行っているが、ワンストップでのサービスが課題となっている。

県立図書館では、県民の課題解決に役立つ高度で専門的な資料・情報の収集・提供のサービスや、県内市町村立図書館の支援を行っている。

さいたま市では、市内に23館(単独館5館、複合施設内に併設18館)の図書館を整備しているほか、移動図書館や配本所(4か所)を整備し、地域の実情に即した資料や情報と課題解決に役立つサービスを市民に提供している。

市立図書館は、直接市民にサービスする図書館として機能・役割を明確にするとともに、高度で専門的な資料や情報の提供については県立図書館と連携し対応していく必要がある。

(連携の方向性)

以下の方針の実現に向けて県市担当課が具体的方策について今後協議を進める。

サービスの役割分担についての検討

- ・図書館サービスや資料収集について、定期的に情報交換を行う連絡・協議の場を設ける。
新規購入予定書籍の調整 など

企画展示の共同開催

- ・図書館の所蔵資料が活かせるテーマを検討し、企画展示を共同で開催する。
- ・話題性や集客力を高めるため、他の機関との連携や、ソーシャルメディアを活用した情報発信についても研究する。

3 スポーツ振興 大型スポーツ大会の開催・誘致(さいたま市スポーツコミッション事業)と埼玉スタジアム2 2、さいたまスーパーアリーナ等との連携

(現状)

県市では、彩の国実業団駅伝(東日本実業団対抗駅伝競走大会、東日本実業団対抗女子駅伝競走大会)において、コース整理員の依頼・配置やコース整理員説明会開催などの協力を実施している。

埼玉県では、平成24年度に埼玉スタジアム2 2の10周年記念事業として、国際試合の招致に取り組んでいる。

さいたま市では、平成23年10月3日にさいたまスポーツコミッションを設立し、各種スポーツ大会の開催・誘致に取り組んでいる。

(連携の方向性)

以下の方針の実現に向けて県市担当課が具体的方策について今後協議を進める。

今後開催・誘致するスポーツ大会やイベントの内容の充実、開催準備・運営等の円滑化など、大会成功に向けた協力体制等を構築する。(適宜、事業ごとに県市及びさいたまスポーツコミッションで協議の場を設定)

【協議・検討事項】

- ・大型スポーツ大会、イベントの開催における連携(既に開催が決定しているもの)
実行委員会への参加、大会役員の派遣、施設利用などの協力や、さいたま市スポーツコミッションによるPR、前夜祭・当日イベントの開催などの支援についての検討を行う。

平成24年度第80回埼玉県駅伝競走大会、日本スポーツマスターズ2014埼玉大会

- ・大型スポーツ大会、イベントの誘致・新規開催における連携
大会開催の情報交換、誘致活動の共同展開、開催のインセンティブの検討、施設利用の調整に関する検討、施設整備における連携の検討を行う。

埼玉スタジアム10周年記念事業とさいたまシティカップの共同開催の検討 など